

《担当者名》 山田 律子 rich@hoku-iryo-u.ac.jp 内ヶ島 伸也 船橋 久美子 若濱 奈々子 鈴木 英樹(リハ)

【概要】

老年期を生きることの意味と価値について考えると共に、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴を踏まえた看護やエンドオブライフ・ケアについて理解を深め、高齢者と家族に対する看護活動に必要な知識とケアスキルを学ぶ。

【学修目標】

1. 老いの意味と価値を理解し、心身機能の加齢変化を踏まえた健康アセスメント、エンドオブライフ・ケアの視点を説明できる。
2. 高齢者の生活機能に関するアセスメントとケアの視点について説明できる。
3. 地域で暮らす高齢者と家族を支える保健医療福祉制度および多職種協働による地域包括ケアの重要性について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	老いを生きるとは	老いの意味と価値、加齢変化、老年看護学の原則・理論、高齢者を支える地域包括ケアと多職種協働、課題レポート(課題図書)の提示	山田
2	高齢者を取り巻く社会	高齢者の統計学的輪郭と老年看護活動の方向性	山田
3	高齢者の健康アセスメント	老年看護過程、高齢者の認知機能のアセスメント	山田
4	高齢者の健康アセスメント	高齢者の運動機能のアセスメント	鈴木
5	高齢者の健康アセスメント	高齢者の外皮・感覚、内分泌のアセスメント	若濱
6	高齢者の健康アセスメント	高齢者の循環・呼吸・消化・泌尿器のアセスメント	若濱
7	老年看護の展開	高齢者の生活機能、身じたく・清潔のアセスメントとケア	内ヶ島
8	老年看護の展開	高齢者の睡眠・休息、覚醒・活動のアセスメントとケア	船橋
9	老年看護の展開	高齢者の食事のアセスメントとケア	山田
10	老年看護の展開	高齢者の排泄のアセスメントとケア	内ヶ島
11	老年看護の展開	高齢者のコミュニケーションのアセスメントとケア	船橋
12	エンドオブライフ・ケア	その人らしく最期まで生きることを支えるケア、認知症高齢者への地域包括ケアの実際	武田純子(特別講師)、山田
13	高齢者への地域包括ケア	高齢者に対する災害看護と地域づくり	船橋
14	高齢者保健医療福祉制度	高齢者保健医療福祉制度 高齢者の権利擁護と地域づくり、多職種との連携	山田
15	介護家族と支援体制	介護家族の生活と健康、介護状況、地域支援体制	内ヶ島

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験90%、課題レポート10%

【教科書】

- 1) 北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院, 2018.
- 2) 山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院, 2020.
- 3) 厚生統計協会(編)「国民衛生の動向・厚生指標2019/2020」厚生労働統計協会, 2019.

【学修の準備】

- 1) 予習は、教科書の授業テーマに関する部分をあらかじめ読んでおくこと(60分)。
- 2) 配付資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように授業に携帯すること。
- 3) 復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること(60分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、1、4

【実務経験】

山田律子（看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）、内ヶ島伸也（看護師、保健師）、船橋久美子（老人看護専門看護師）、若濱奈々子（看護師、保健師）、鈴木英樹（理学療法士）、武田純子（看護師、介護支援専門員、北海道グループホーム協会顧問）

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護の実務経験に基づき、老いの意味と価値、加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化を踏まえた生活機能のアセスメントとケアの視点を教育する。特に高齢者の運動機能のアセスメントでは理学療法士、地域包括ケアとエンドオブライフ・ケアでは全国区で活躍する実践家が質の高いケアについて写真や映像も交えながら、実践的教育を行う。